メールニュース　「海員だより」　2023 年 1 月 14 日付　NO.23014

地方支部長が抱負を語る

関西地方支部長　　浦　隆幸

▽▲▽▲　座右の銘
楽観よし悲観よし。
悲観の中にも道があり、楽観の中にも道がある　　▲▽▲▽

新年おめでとうございます。謹んでお慶び申し上げます。

新しい年での抱負ですが、関西地方支部管内は大阪支部、名古屋支部、福井県坂井市三国町にある北陸支部、そして、この 3 支部を統括する関西地方支部（神戸市）の 4 つの拠点で、組合活動を展開しています。

関西管内における昨年の活動を振り返りますと、活動方針書の「海に親しむ活動」では、11 月 16 日に、和歌山県白浜町の白浜海底観光船のグラスボート乗り場で、「白浜の海から学ぼう体験乗船」を開催し、地元の白浜町立白浜第一小学校と第二小学校の 6 年生 41 人が参加しました。

この白浜での体験乗船の企画は、白浜町と白浜町教育委員会、白浜海底観光船、京都大学白浜水族館に全面協力していただき、2017 年に初めて開催し、続けて毎年開催していましたが、コロナ禍の状況を勘案し、体験乗船は取りやめ出前授業に切り替えていました。体験乗船に参加した児童たちは、グラスボート「りんかい」に乗船し、白浜の海を泳ぐ魚や生きものを間近で見学したり、船員が船の仕事で使うロープの結び方を学んだり、普段は触れることのない海や船の話を、現役の航海士と機関士の講話を通じて学びました。また、グラスボート乗り場に隣接する京都大学白浜水族館に移動し、白浜の海に生息する魚を見学し、海に親しむ有意義な時間を過ごしました。

この体験乗船は小学 6 年生の児童を対象に実施しましたが、午後からは白浜第一小学校の体育館に移動し、今度は小学 5 年生を対象に、出前授業を実施しました。小学 5 年生は、社会科で貿易について学習するカリキュラムになっていますので、日本の貿易を担う船舶や「船員」という職業やその魅力を知ってもらうため、職場委員が講師となり、船員職業の魅力を説明しました。関西の各支部とも、将来の船員後継者の確保・育成のために今年も尽力します。